

INTERVIEW [今月のインタビュー]

INTERVIEW

NEWSFILE

TV

CONCERT

PLAY

CD

MOVIE

VIDEO&DVD

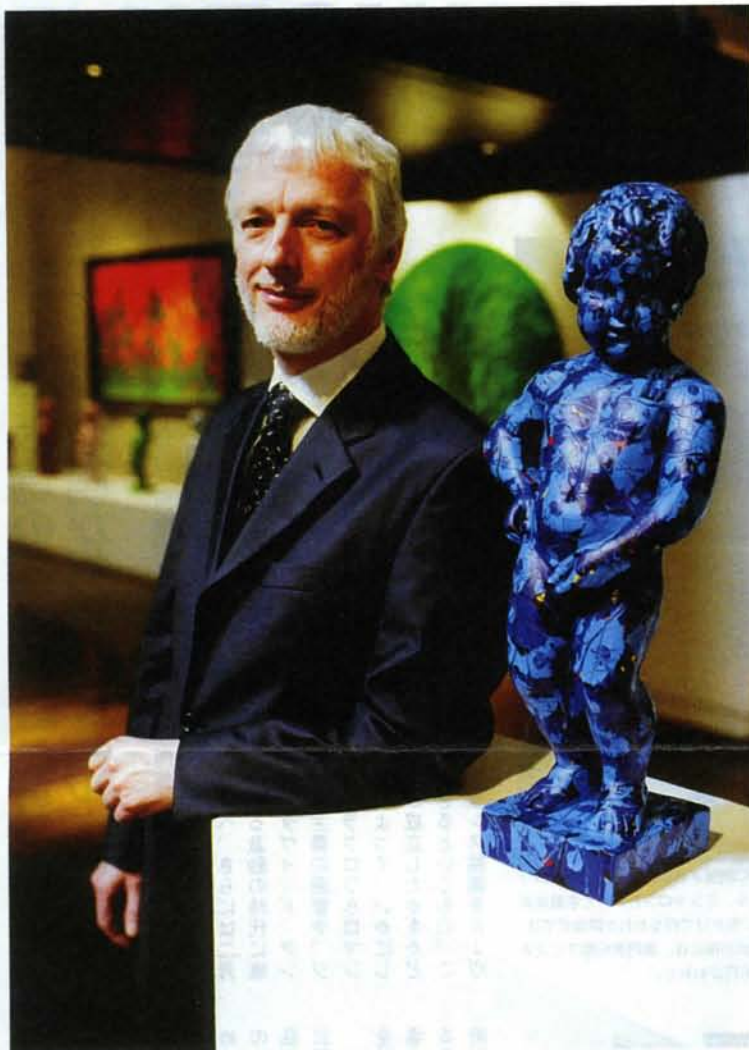
BOOK

GOURMET

EVENT

ART

SCHOOL&CULTURE



PROFILE

Patrick GEROLA/1959年生まれ、ベルギー・ブリュッセル出身。ブリュッセル王立美術アカデミーで学び、ヨーロッパで主にモダンバレエ関係の舞台美術を手がける。83年に来日、日本文化に感銘を受け、後に鎌倉に移住活動の拠点を日本に移す。85年、つくば万博フランス館の装飾を始め、壁画制作やギャラリー以外での個展多数。「ベルギーと日本の民間大使」と言われるほどに、両国の文化交流の架け橋として活動するアーティスト。



東洋と西洋を共有するベルギー前衛作家 「パトリック・ジェロラ」展 ～色彩が光と音を奏でる世界

園メルシャン軽井沢美術館
展開催中～7月3日まで（火曜休館）
開館時30分～17時（入場は16時30分まで）
料一般800円、大学生600円、中高生500円、
小学生300円
http://www.mercian.co.jp/museum/

Patrick
GEROLA

パトリック・ジェロラ

天然素材でつくった絵の具からは、大地を感じる。
それが、観る人にとって心の養分になるんだよ。

丹念に手作りした絵の具で描く、鮮やかな世界

軽快なリズムの線が織りなす鮮やかな風景画、様々に塗られた42体もの小便小僧たち、宝石が散りばめられた抽象画…。在日ベルギー人である作家パトリック・ジェロラが生み出した、カラフルでウィットに富んだ作品が楽しめる「パトリック・ジェロラ」展。色彩が光と音を奏でる世界が、メルシャン軽井沢美術館で開催されている。鮮やかな色使いで印象的な作品群。そこに込められた思いを聞いた。

「アル・フレスコ」という技法を使うために、絵の具から手作り。粘土、植物、金属、岩石などの顔料を天然樹脂で溶いて画材にするんだ。これは古代人が壁画に描いたのと同じ方法なんだよ。現在は水彩・アクリル・油彩と便利なものがたくさんあるけど、天然素材はそこに生じる光が違う。天然素材でつくった絵の具からは、大地を感じる事が出来るんだ。それが観る人にとって心の養分となるんだよ」

今回の展示の中でも一際異彩を放っているのが、宝石をあしらった新作「祭り」だ。ダイヤモンド・サファイヤ・ルビー・エメラルドを合計100個・約28カラット分も配置した、その意図とは？

「宝石も、手作りする絵の具と同様に、大地から来たもの。そして、その中でも一番高貴なものだよ。今回はベルギーの宝飾会社の協

力で、とてもクオリティの高い宝石を使うことが出来たんだ。絵の一部として、作品と一体になっているから、その光の美しさをよく見て欲しい。宝石ってこの度は、光の遊び」としてとても高度だから、作品に使ってみて、何故女性がダイヤモンドに惹かれるのか、よくわかったよ(笑)」

お洒落でゴージャスな雰囲気とは裏腹に、素材を厳選し、手作業にこだわって制作された彼の作品は、シンプルで観る者の感性に訴えかけるパワーに溢れている。難しいことは考えず、作品の前に立つて、ただ感じていければいい。様々な言葉を発しながら、彼の青い瞳はただそれだけを語っているようだった。